

緩和ケアについて

緩和ケア認定看護師

はまだ
浜田
あきこ
晶子

緩和ケアは、がんに伴うからだと心の痛みを和らげて、生活を快適に過ごせるようにその人らしさを大切に考えた考え方です。

がんの療養中は、痛みや食欲低下など身体の不調や気分の落ち込みなど、心の問題が日常生活を妨げることがあります。がん治療と並行して患者さんが抱える「こころ」と「生活」のつらさにも目を向け、療養生活の質もがん治療と同じように大切に考えられるようになってきました。緩和ケアの考え方を早い時期から取り入れていくことで患者さんにご家族の生活をより良いものにしていくことができます。

緩和ケアを、「がんの進行した患者さんに対するケア」「まだ緩和ケアを受ける時期ではない」と思っている方も多いと思います。患者さんやご家族は、治療に伴う副作用やこれからのことへの不安、痛みなどつらい症状をできるだけ少なく過ごしたいと考えておられると思います。緩和ケアはどのような病状・時期でも受けることができます。患者さんの希望される生活を一緒に考えていきたいと思えます。是非、ご相談ください。

